
商船三井さんふらわあ

2024/07/24

(株)商船三井さんふらわあ 旅客営業



目次タイトル

1.商船三井さんふらわあの概要

2.商船三井さんふらわあの特徴

商船三井さんふらわあ：フェリー・内航RORO船事業（旅客も、貨物も、）

- 物流事業においては、国内最大規模の海上輸送ネットワークで重要拠点を結び、トラックドライバー不足や環境負荷低減のソリューションとなる「モーダルシフト」の受け皿となり、社会と環境に優しい輸送手段として国内物流を支える。また、災害発生時のBCP対応として、陸路物流網が遮断されても継続的な輸送を提供している。
- 旅客事業においては、気軽に非日常の船旅を体験いただける「カジュアルクルーズ」をコンセプトとしたサービスを提供する。

フェリーさんふらわあ

(関西 ⇄ 九州 3航路)

商船三井フェリー

(関東 ⇄ 九州・北海道 計3航路)

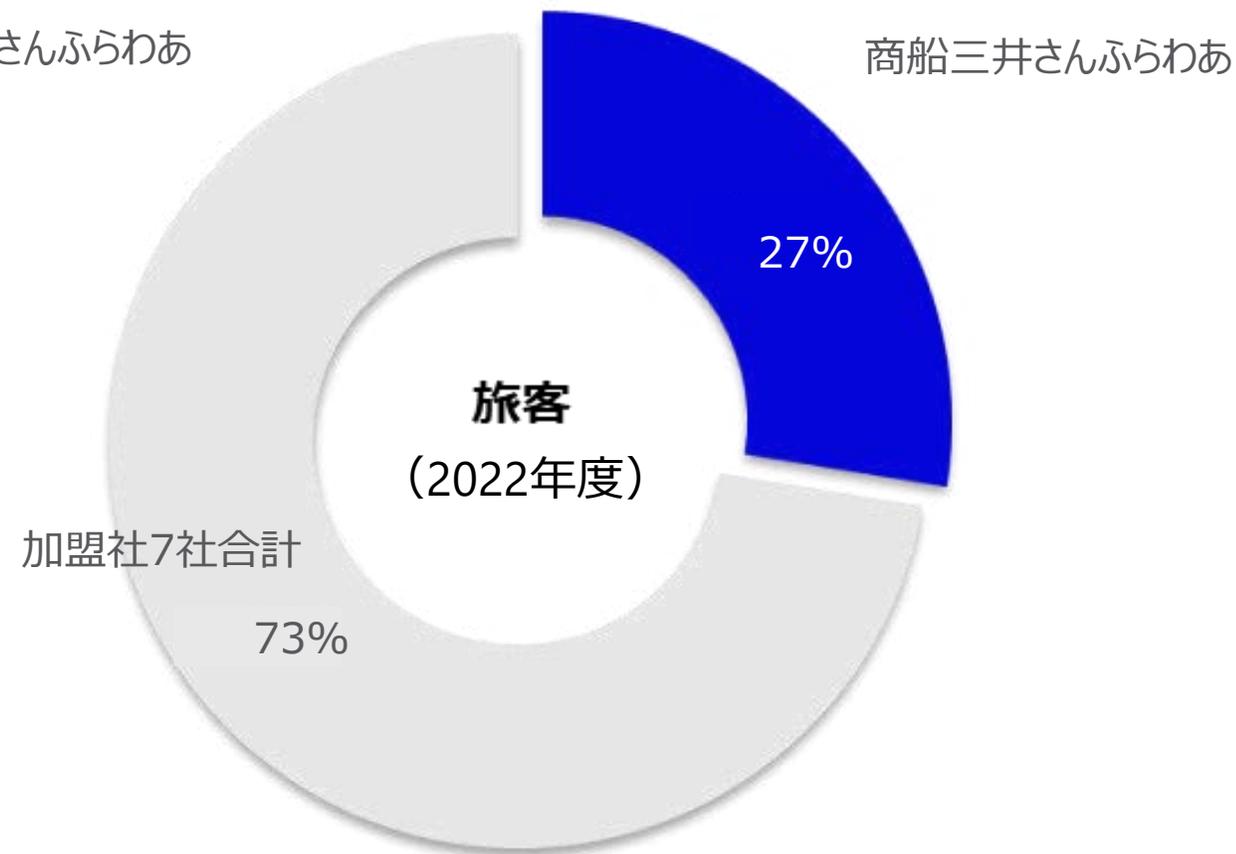
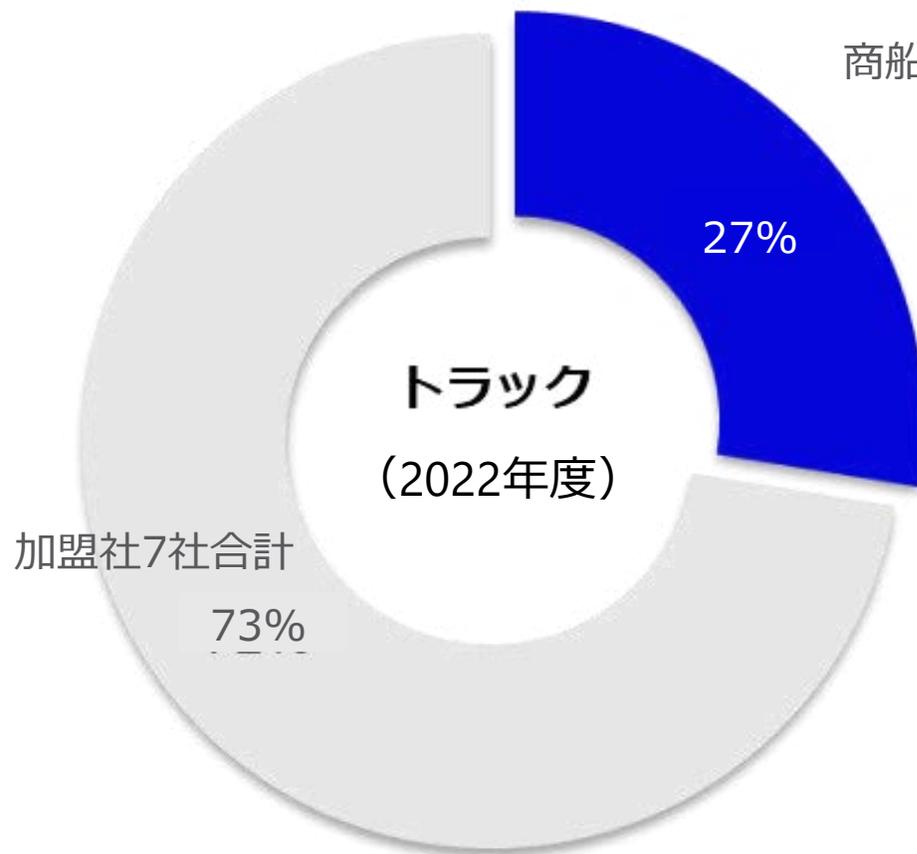


日本最大規模のフェリー・内航RORO船運航会社の誕生

- 関東～北海道はフェリー1日2便、2025年LNG燃料フェリー2隻が就航予定
- 関東～九州は博多・苅田への2航路で、RORO船サービスを提供。
- 関西～九州は大分・別府・志布志への3航路で、フェリーサービスを提供。2023年前半、別府航路にはLNG燃料フェリー2隻が就航。
- いつでも気軽に非日常をご経験頂ける「カジュアルクルーズ」の更なる追求。



国内最大の航路網・運航隻数(6航路/14隻)を誇り、物流・旅客両面で安定したサービスを展開。事業所数や売上高でもトップ。輸送量も物流・旅客共に業界全体の約30%。



日本長距離フェリー協会(加盟8社)公表輸送統計

フェリー事業「さんふらわあ」の詳細 首都圏～北海道航路

年間旅客人数
約 **16** 万人

年間乗用車台数
約 **5** 万台

1日2便
週6日運航



首都圏—北海道航路

〈茨城県大洗港—苫小牧港〉

夕方便 / 月～土

大洗港 19:45 発 >>> 苫小牧港 翌 13:30 着

苫小牧港 18:45 発 >>> 大洗港 翌 14:00 着

深夜便 / 火～日

大洗港 1:45 発 >>> 苫小牧港 当日 19:45 着

苫小牧港 1:30 発 >>> 大洗港 当日 19:30 着

さんふらわあ さっぼろ



さんふらわあ ふらの



さんふらわあ しれとこ



さんふらわあ だいせつ



フェリー事業「さんふらわあ」の詳細 関西～九州航路

年間旅客人数
約 **38** 万人

年間乗用車台数
約 **10** 万台

365日
毎日運航



神戸港(六甲アイランド)		大分港	
下り便	日～木 19:00 発	翌朝 6:20 着	
上り便	金・土 19:50 発	翌朝 7:20 着	
	翌朝 6:40 着	19:20 発	日～木 上り便
	翌朝 7:55 着	19:30 発	金・土 上り便



さんふらわあターミナル(大阪) 第1ターミナル(ATC館内)		別府国際観光港	
下り便	日～木 19:05 発	翌朝 6:55 着	
上り便	金・土 20:05 発	翌朝 7:55 着	
	翌朝 6:35 着	18:45 発	日～木 上り便
	翌朝 7:25 着	19:20 発	金・土 上り便



下り便	月～土 17:55 発	翌朝 8:55 着	
上り便	日 17:00 発	翌朝 8:55 着	
	翌朝 7:40 着	17:55 発	月～木 上り便
	翌朝 7:50 着	17:55 発	金 上り便
	翌朝 8:50 着	18:30 発	土 上り便
	翌朝 7:40 着	17:00 発	日 上り便

目次タイトル

1.商船三井さんふらわあの概要

2.商船三井さんふらわあの特徴

国内初LNG燃料フェリー2隻「さんふらわあ くれない・むらさき」の就航



	くれない/むらさき本船	あいぼり/こぼると 既存船
乗客数	716名	710名
トラック積載可能数(13m換算)	137台	92台
航行速力	22.5ノット	22.4ノット
全長	199.9m	153.0m
総トン数	17,114トン	9,245トン
燃料	LNG/重油	重油

さんふらわあ くれない



さんふらわあ むらさき

国内初LNG燃料フェリーの特徴 ～環境への配慮～

ポイント① 温室効果ガス、大気汚染の原因を大幅削減

- 国内フェリー初となるLNGと重油それぞれを燃料として使用できる高性能Dual Fuelエンジンを搭載
- LNG燃料を使用することで、二酸化炭素（CO₂）を約25%、硫黄酸化物（SO_x）を100%、窒素酸化物（NO_x）を約85%、排出削減

ポイント② 物流業界の「2024年問題」と地球温暖化、2つの社会問題に貢献

- トラック積載台数を従来船に比べ、約1.5倍に増量
- 全室個室のドライバーズルームをはじめとするトラックドライバー区画を整備



二酸化炭素(温室効果ガス)

CO₂ 排出量

約**25%** ↓削減

※従来燃料に重油との比較

窒素化合物

NO_x 約**85%** ↓削減

※従来燃料に重油との比較

硫黄化合物

SO_x ほぼ**0**

粒子状物質

PM ほぼ**0**



国内初LNG燃料フェリーの特徴 ～お客様の快適性～

ポイント③ KIZUNAをテーマにした長距離フェリー初のコネクティングルーム

- 3世代がひとつの部屋で過ごすことができる広々とした客室空間。
家族や友人のつながり＝「きずな（KIZUNA）」を再認識する場をお客様に提供

ポイント④ 多様なニーズに対応したユニバーサルデザイン

- 船内には、多機能トイレやベビーケアルーム、
ターミナルには、祈祷室やカームダウン・クールダウンルームなどを設置。
多種多様な文化に対応した施設も特徴



国内初LNG燃料フェリーの特徴 ～お客様の快適性～

ポイント⑤ 移動そのものを楽しむ「カジュアルクルーズ」という船旅

- レストランや展望大浴場、プロジェクションマッピングによる演出など、船内に「楽しむ」ための仕掛けを多数用意。エンタメ性ある演出で、新たな船旅の 카테고리を創出



LNG燃料船への代替促進 ～2025年 新造LNG燃料フェリー2隻就航予定～



大洗～苫小牧航路 新造LNG燃料フェリー2隻

	新造船(予定)	既存船
船名	決定し次第発表します。	さんふらわあ だいせつ さんふらわあ しれとこ
旅客定員	157名	154名
乗用車	50台	62台
トラック積載可能数(13m換算)	155台	135台
全長	199.4m	190.0m
総トン	約15,600トン	約11,400トン
主な使用燃料	LNG(適合油での運航も可能)	適合油(C重油)



さんふらわあ かむい



商船三井さんふらわあの強み

- 北海道から九州まで、合計10隻の大型フェリーを運航。フェリーという場所、空間を所有し活用することができる（フェリーというアセットがある）
- 長年蓄積したフェリー運航のノウハウ
- フェリーや船旅好きに加え、ファミリー、バイク好き、トラック運転手など幅広い一般消費者へのリーチが可能
- 船上という特殊な環境とそこで働く乗組員とのコネクション
- 日本初のLNG燃料フェリーの運航やそれを活用し、就航地域とも連携した新しい旅プランなどを通じ環境対応やエコツーリズムにも注力。他社に先駆け蓄積した新しい技術、ノウハウ

